



市議会ホームページ



市議会フェイスブック



市議会ユーチューブ

あなたの声をお聴かせください

議会報告会・懇談会

令和五年度
議会報告会・懇談会



いただいたご意見（一部抜粋）

1月28日、全市民を対象とした議会報告会・懇談会を開催し、約60人にご参加いただきました。報告会では各委員会より活動の報告を行い、その後の懇談会では、市立病院の経営形態や放課後児童対策、不登校児童・生徒への対応についてなど、参加者からいただいたご意見をもとに活発な意見交換が行われました。

いただいたご意見やご要望については、行政に伝えるとともに、議会としても政策立案や議会活動に生かすなど、課題の解決に努めてまいります。今後もこのような機会を設けてまいりますので、皆さんのご参加・ご協力をお願いします。

- ・市立病院は市直営病院として存続させてほしい。市や議会がチェックできる市立病院であるべき。各経営形態の財政シミュレーションを示してほしい。
- ・厳しいとされる市の財政状況、またその改善方法はあるのかと不安である。
- ・学童保育を継続するには、ボランティア活動では限界がある。NPO法人化や社団法人化を進めるべきではないか。

「みんなが名張を好きになるなる条例」 全会一致で可決

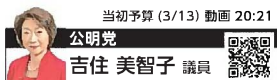


行政が、新しい総合計画「なばり新時代戦略」に基づき、市内外にシティプロモーションを展開する中、その取組を積極的に後押しするため、市議会ではシティプロモーション推進条例検討部会を立ち上げ、市民参画型ワークショップの皆さんとの懇談を実施するなど、本条例の制定について検討してきました。

これまでの検討を踏まえ、名張に関わる人々の名張プライドが育まれ、持続可能なまちづくりの推進が図れるよう、前文のとおりを願いを込め、3月26日に本条例を制定しました。

条例の前文

名張に愛着を持った人がつながり、名張の将来に主体的に関わる人が増え、たくさんの人が名張を語り、魅力を発信する、また、そのような行動を起こしてくれる人たちに感謝の気持ちを持つ人がいる、そんな名張を想う人であふれるまちになることを願って、この条例を定めます。

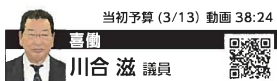


Q 厳しい予算編成

新年度当初予算は、令和5年度で終了する都市振興税やその他の市税収入が減少する影響もあり、予算要求に対し、約15億円の財源不足となった。事務事業を見直し、財政調整基金を取り崩すなど大変厳しい予算編成であるが、財源確保に向けた取組を問う。

A 財源確保に努める

ふるさと納税やネーミングライツ、クラウドファンディングなどを積極的に活用し、財源確保に努める。「なばり新時代戦略」を遂行するため、庁内にプロジェクトチームを立ち上げ、財政健全化に向けた数値目標を夏までに示す。



Q 名張をフルーツ王国に

本市では兼業農家が大半であり、本業の収入で機械を購入しているのが現状である。農業所得の向上及び中山間部の耕作放棄地対策として栗、柿、梨、柚子、キウイフルーツ、梅など果樹を植えフルーツ王国を目指すとはどうか。

A 柿や栗の収益化を研究

市内では小規模の販売農家が7割を占めているが、稲作だけで収益を上げるのは難しい。JAと協力しながら付加価値の高い有機野菜、山椒などの生産を促す取組を進めている。柿や栗は手間がかからず一定の収益につながると考えており、今後も研究を続ける。



Q ふるさと納税独自サイトを

現在、本市のふるさと納税は、手数料の高いポータルサイトにて寄附を募っており、寄附額は年々増加している反面、その約10%が決済を含めた手数料として必要になる。手数料が不要な独自サイトの運営を検討してはどうか。

A 既存の民間サイトを利用

独自のふるさと納税サイトについては、経費の削減や自由度の高い運営といったメリットがあるため、今後の検討課題としながらも、当面の間は、集客力の高い既存の民間ポータルサイトを活用して、広く名張市の知名度を上げていけるよう取り組む。



Q 平和教育の推進について

ロシアのウクライナ侵攻やパレスチナ・イスラエル戦争が日常的に報道されている。語るだけの平和活動ではすまない社会背景の中、教育的観点からどのように平和教育に取り組むかを問う。

A 主体性・実践力を育てる

戦争の悲惨さや命の尊さを学び、他者を思いやる気持ちを高め、自ら考え行動する主体性・実践力を育てることが課題となる。子ども達が共に学び、考えを深める機会を設け、12月の「ふれ愛コンサート」において、その考えや思いを市民に発信できるよう活動を展開する予定である。

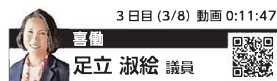


Q 給食費の無償化を提案

令和4年6月から公共工事の発注単価が増額され、以前に比べ毎年1億円以上の過剰支出が予測される。建設業界の利益を適正金額に戻して生み出される1億円以上のお金を「小学生の給食費補助」に使うことを検討いただきたい。

A 財源の安定確保が困難

小学生の給食費無償化には毎年約2億円必要である。無償化は行いたい、一度始めると継続が必要で、必要な経費を毎年確保できる保証がない。今後、毎年2～10億円の赤字が見込まれる本市にとって、無償化に取り組むことは困難であると考えている。

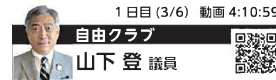


Q 夜間帯の入院不要患者対応

高齢化に伴う免許返納者は年々増加している。そのような中、公共交通機関が利用できない夜間帯に救急搬送された後、軽症と診断され、入院が不要となった患者への対応は、どのようにしているか。

A 状況に応じて対応している

輪番日には当直の事務員がおり、和室の家族控室を利用いただいたり、バスやタクシーの運行が始まる時間まで待合室にあるソファで待っていただくなどしている。また、体調が優れない方については、可能な限り、救急外来の空きベッドを案内している。

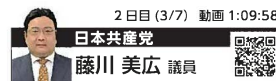


Q 終活相談窓口の一元化を

終活に関する相談は多岐にわたり、どの窓口で聞けばいいかわからないという声が多くある。相談窓口の一元化について、市の考えを問う。

A 調査・研究を行っていく

終活は、万一の場合の対応や連絡先などを決めておくことで、不安が解消されるなど、安心した生活を送るために有効であると認識している。終活は、緊急時の対応や相続、不動産処分など内容が多分野にわたることから、総合的な相談窓口の開設については、部局を超えて連携し、調査・研究を行っていく。

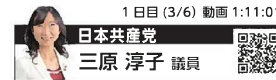


Q より良い中学校給食実施を

PFI手法での中学校給食実施には、地元企業が参画しにくいなどの問題がある。実施手法を重視して地産地消や手作り給食を中止することにならないよう、実施条件を明確にする必要がある。地域の発展、子どもたちにとってより良い学校給食実施に向けた考えを問う。

A 要求水準書に詳細を記載

入札やプロポーザル方式が成立しない場合でも給食の質を落とすことは考えていない。食育や地産地消、手作り給食は守る。良質で安心安全な給食運営が重要であるため、業務内容については要求水準書で詳細を示す。

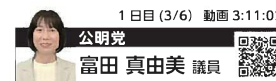


Q 病院定款に救急の文言を

地方独立行政法人名張市立病院の定款に関する条例が3月定例議会に上程された。参考とした桑名市総合医療センターの定款には「救急・高度医療の提供」が明記されているが、名張市立病院は「医療を提供」としか書いていない。地域医療構想に基づき、救急医療が縮小される心配がある。中期目標は4年で改定されるため、定款に明記するべきだ。

A 中期目標で示すことが適切

定款では救急や小児医療などを包括して「良質で安全な医療の提供」と表現しており、具体的な事項は中期目標で示すことが適切と考える。



Q 防災対策について

これまでの震災を教訓に、耐震改修の推進や避難所開設運営の手順書ファーストミッションボックスの導入、日常と緊急時の垣根をなくすフェーズフリーの取組、男女共同参画の視点に立った避難所運営、避難行動要支援者に関する見守り台帳の整備などが重要になると考えるが、本市の防災対策について問う。

A 有効手段の検証を進める

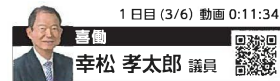
現在、赤目地域のモデル事業で個別避難計画の作成を進めている。大規模災害に備え、誰もが安心して生活できる地域共生社会の構築を目指し、有効的な手段の検証を進める。

一般質問の動画を配信中！

ユーチューブで、一般質問の動画を配信中。各議員名の右のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると視聴できます。また、QRコード上の数字は質問の開始時間です。併せてご確認ください。



ぜひ、チャンネル登録を！



Q 学校校務のDX化を求める

文部科学省が実施した校務の情報化に関する調査によると、全国で73.4%の自治体が統合型校務支援システムを利用しているが、本市では導入していない。教員の負担軽減を進めるためにも、導入は不可欠である。

A 令和7年度中の運用が目標

教職員が使用する指導要録などを扱う学籍系、出席や成績などを扱う教務系、健康の記録などを扱う保健系、学校事務系など、様々な校務を一元的に扱う統合型校務支援システムは、現在、小学校1校で試験運用を始めている。令和7年度中を目途に全面導入を目指す。

